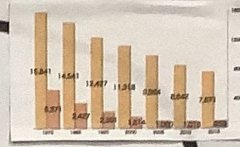


# 速報 吉野桜の衰退原因とは？

## 仮説

吉野桜が現在衰退しているが、それには林業従事者の高齢化が関係しているのか。

しかし... 実際には人数は減少しているが、本当に衰退原因はこれだけ...？



## ナラタケモドキ (栲茸擬)

詳しく調べると、

生息環境 梅雨の時期から秋にかけて観察することができる。やや暖地に多いきのこ。広葉樹枯木や衰弱した木の根元などに生える。

特徴 丸い形の傘と柄をもつ。樹木の根や幹に感染し、腐朽させる。⇒ 白色に変化  
 ☆「ナラタケモドキ病」と呼ばれている

吉野山周辺の地形は...  
 ↳丹治川によって作られた急なV字の谷??  
 ↓  
 日光が当たりにくい??  
 また、木が密集しており...  
 樹冠どうしが重なるため...  
 光合成ができず、衰弱し、  
 地面まで日光が届かない??

ナラタケモドキは...  
 ⇒ 根系から感染する!  
 左図でも根元の方が腐朽している。  
 ↓  
 土壌の状態が良くない??  
 日光が当たらないため...  
 養分が補給できない...  
 ポイ捨てなども  
 土壌に悪影響...

↑木の腐朽度の図

つまり、吉野山の桜の衰退原因は 根系への病気の感染 だったのである。では私達ではどうしようもないことなのか...?!  
いや、そんなことはな— い!!??

事実、観光客が出したゴミやポイ捨てによるゴミが病原体の繁殖を助長しているのだ。このことより私達にできることは、

未来の美しい桜の鍵 =

- ◎ボランティアの清掃活動
- ◎ポイ捨て禁止を呼び掛けるポスター製作